

第2回特別区設置協議会提出資料

**「区割り案について」
日本共産党大阪市会議員団の考え方**

特別区設置協議会委員

日本共産党大阪市会議員団 山中智子

「区割り案で考慮すべき点」についての疑問・意見

人口規模

----- 最適規模の定説がない中で、どう議論するのか

集積性

----- 基礎自治を担う「区」において、集積性への着目にどんな意味があるか

「北区・中央区で、平たく言いますと、やっぱり、雄藩連合になるわけじゃないですか、くっつけるとなると。それで、財政のスケールメリットを持って、大阪市内のセントラルエリアということで、景気浮揚も図っていくというご意見が出て、北区・中央区統合案というものが一つまとめられました。その一方で、やっぱり、そうは言っても、雄藩でくっついてしまうと、あまりにも他の区との財政格差が生じてしまうんじゃないかと。それで、これはまだ先の話ですけれども、財政調整するとかになったら、東京では港区が税収高いですよね。でも、その港区の税収が全部港区のために使われているかといったら、都区財政調整で他の区にスライドされているのと同じ理屈で、結局、北区・中央区でくっついた、その魅力も削がれてしまうと。北区・中央区の税収分を全部北区・中央区のために使えとも限らない。だったら、それは北区・中央区で分離して、別の案をつくった方がいいんじゃないかという意見もありまして、それぞれ、両方とも一理あるなということで、案をまとめた次第です。」

(第9回「新たな区」移行プロジェクト会議での水谷天王寺区長の発言)

地域性

----- 歴史的経過だけでなく、住民の意識や実態を把握し、考慮するべきではないか

移動手段

----- 重要だが、言い出せばきりがないのではないか

私たちの考える考慮すべき点

市民の暮らし、市民サービスがどうなるか

財政力の 格差

「ニア・イズ・ベター」「地域のことは住民本位に決定する」の意
することは、地域特性や住民意見にもとづいた政策選択であり、トータ
ルの財源に大きな差があってはならない。財政力の差をどこまで許
容するかを検討すべきではないか

「中央区と北区の話で、私も初めに言ったように、経済成長を区のほうで担うみたいな形のプランだと合体するとい
うのもあると思うんですけど、基本的には、生活レベルというか、生活水準のところへの「ニア・イズ・ベター」と
いう形で見ているわけですから、このところはやはり分けて、あまり格差をつけないようなところでみんなで競争
し合う。初めから格差があり過ぎると競争し合うということが削がれてしまうので、そういう意味では分離の方が
いいかなと個人的に思います。」

(第9回「新たな区」移行プロジェクト会議での赤井特別顧問の発言)

イニシヤ ルコスト

市民負担になりかねず、各区割り案のコストを想定し、検討の対象
とすべきではないか

財産や債 務の格差

偏在している財産や債務を抽出・整理し、そのあり方について、方
向性を持つべきではないか